

第2回

和漢医薬学会若手研究者フォーラム

～芽吹け！若手の和漢薬研究～

プログラム／要旨集

会期：2021年9月3日（金）

会場：オンライン開催（Zoom）

主催：和漢医薬学会次世代を担う若手研究者の会

後援：和漢医薬学会

○概要

和漢医薬学会次世代を担う若手研究者の会では、これまで、学術大会の中で、分野の垣根を超えた交流を目的にシンポジウムを企画してきましたが、限られた時間の中で十分な議論ができていたとは言い難い状況でした。そこで、第 37 回学術大会の開催に合わせ、若手研究者がより活発な議論を行う場として「和漢医薬学会若手研究者フォーラム」を企画し、2020 年 8 月 28 日（金）に記念すべき第 1 回和漢医薬学会若手研究者フォーラムを開催致しました。本フォーラムの設置理念に基づき、本年度も『第 2 回和漢医薬学会若手研究者フォーラム～芽吹け！若手の和漢薬研究～』を実施致します。なお、フォーラムも学術大会と同様、オンラインによる開催となります。

○参加者の皆様へ

1. 参加費は無料です。
2. Zoom サイトは 14 時 30 分よりオープンします。
3. Zoom サイトは参加登録時のメールリンクよりご入室下さい。
4. 通常の学会と同じく、演題の撮影・録音は禁止します。また、ミラー配信も禁止します。
5. 参加にあたって、年齢制限はありません。ただし、質疑に関しては若手研究者が優先的に行えるように、ご配慮をお願いします。
6. 服装に特に決まりはありません。

※参加中の注意

- 表示名を氏名+所属に変更して下さい。
(例: 堀江一郎@山口東京理科大学)
- マイクはオフにして下さい。
- 質問以外でチャット機能は使わないで下さい。
- 質問のある方は、チャット機能を用いて簡単な質問内容 (例: ○○実験の方法について) を入力してください (送信先は全員)。質疑の時間になりましたら座長が指名しますので、その際はマイクのミュートを解除して質問して下さい。
- Zoom のバージョンにはご注意願います。アップデートされていない方は事前に最新のバージョンへのアップデートをお願いします。また、ブラウザ版では互換性の問題で必要な機能を使用できない可能性があるため、Zoom はなるべくインストール版をお使い下さい。

Zoomの使い方マニュアル（一般参加者用）

通常時、質疑応答時

チャット入力画面

ここは全員を選択してください。

送信先: **全員** ↓ ファイル ...

第一薬科大学 久保山友晴
n数はどのくらいですか？

- Winの場合、Alt+Enterで改行、Enterで送信です。
- Macの場合、Control+Returnで改行、Returnで送信です。

ミュート ビデオの停止

セキュリティ 参加者 1 **チャット** 画面を共有 レコーディング 反応

ここを押すとチャット入力画面が出ます。

これは音声とビデオがONの状態です。
質問者以外は両方OFFにしてください。

↓

ミュート解除 ビデオの開始

プレゼンテーション時

ここを押すと、この小画面（サムネイルビデオ）が消えます。

アミロイドβによる軸索変性に着目したアルツハイマー病予防・治療法の開発

久保山友晴¹、楊熙崇²、東田千尋²

1. 第一薬科大学薬学部生薬学分野
2. 富山大学和漢医薬学総合研究所神経細胞学領域

久保山 友晴

○発表者の先生へ

1. 発表は、プレゼンテーション 5-10 分・質疑応答 10-15 分の合計 20 分です。時間厳守でお願いします。
2. 発表は PowerPoint ファイルの共有で行います。発表時は、画面下にある「共有」をクリックし、共有したいファイルをお選び下さい。その後、スライドショーを開始して下さい。発表が終了しましたら、画面上部に表示される「共有の停止」をクリックして下さい。
3. 画面サイズは 4:3 で作成して下さい。
4. 演者の交代などがある場合は、早急に事務局 (担当:堀江 (0836-39-7142)) までご連絡下さい。
5. 発表は座長の指示に従って下さい。
6. 筆頭演者は、和漢医薬学会の「医薬学研究の利益相反 (COI) に関する指針」(<https://www.wakan-iyaku.gr.jp/riekisohan/>) の細則に従い、利益相反の状態の有無にかかわらず申告が必要です。形式は自由ですが、タイトルの次スライド (2 枚目) で COI について開示して下さい。また、すべてのスライドに、「録画・転載・転用禁止」の文言を記載して下さい。

○プログラム

15:00- 開会の辞 堀江 一郎 (山口東京理科大学)

15:05-16:15 プレナリーレクチャー 座長:中嶋 聡一 (NPR 医薬資源研究所)

優れた基礎研究を行うために必要なこと

井ノ口 馨

富山大学卓越教授
アイドリング脳科学研究センター長

16:25-18:05 自論異論・若手討論会 (一般演題)

セッション A 座長:安藤 広和 (金沢大学)

A-1 ニンニク由来不安定化合物 thioacrolein を利用したチオ

ピランの合成およびその活性評価

米田 太一

京都薬科大学薬学部 生薬学分野

A-2 Diosgenin によって軸索が再伸長し記憶が改善する分子メ

カニズムの解明

楊 熙蒙

富山大学和漢医薬学総合研究所 神経機能学領域

**A-3 持続可能性をふまえた生薬「オウバク」の伐採調査と有効利
用**

西原 正和

奈良県薬事研究センター 検査・精度管理係

セッション B 座長: 吉野 鉄大 (慶應義塾大学)

**B-1 医薬品副作用データベース (JADER) を用いた補気剤の有
効性に関する検討**

小川 慶子

立命館大学薬学部 レギュラトリーサイエンス研究室

**B-2 SARS-CoV-2 スパイクタンパク質の開裂を制御する生薬
エキスの探索**

北村 雅史

城西大学薬学部 生薬学研究室

18:10-

閉会の辞

久保山 友晴 (第一薬科大学)
